

# 令和7年度 学力向上を図るための全体計画

## 東大和市立第七小学校



### 学力向上の調査及び日常の様子から明らかになった課題

- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ①漢字・言語の知識が十分とは言えない。             | ⑤文章を読み取る力が弱く、長文の内容を読み取る力が不足している。 |
| ②既習の知識や技能が定着しておらず、計算力に結び付いていない。 | ⑥資料を基に考え、読み取る力が弱い。               |
| ③実験・観察から導く論理的思考力にやや劣る。          | ⑦ノートの取り方、まとめる力が身に付いていない。         |
| ④日常生活における体験的な活動が少ない。            | ⑧自分の考えを書いたり、表現したりする力が十分でない。      |

### 東大和市立第七小学校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○問題解決学習の取り組みや 験学習の重視 ○習熟度別少人数指導やTT指導 の指導形態と指導方法の推進 ○補充的な学習と発展的な学習 の工夫 ○東京ベースック・ドリルの活用 ○1人1台端末の活用 ○学習支援ボランティアの活用	○標準時数の十分な確保 ○小中一貫教育の推進 ○習熟度別算数少人数指導 ○昼の時間を活用した読書 ・AIドリル ○学カステップアップ事業 ○言語活動の充実 ○読み聞かせやブックトークの実施 ○学習支援員、協力指導員の活	○小中一貫教育の充実(IMO-ZO) 中学校区における情報交換と相互研修 ・研究授業参観と協議会の実施 ・学習規律への共通理解 ・中1ギャップの解消に向けた取り組み ○教員同士が授業を見合い、指導力 の向上につなげる相互授業参観 ○1人1台端末を活用した授業研究 ○管理職、主幹教諭、主任教諭を講師 とし、年間を通じた校内OJTの実施 ○特別支援教育に関する校内研修 の実施	○評価計画(評価規準)に基づい た指導と評価の一体化の推進 ○子供の自己評価カードや授業 の振り返りによる評価の把握 ○学期に1度の授業公開や道徳授業地区 公開講座の実施 ○保護者アンケートや学校運営 協議会の意見の反映 ○五中グループ共通アンケートに よる、学校評価の実施	○放課後子ども教室 との共通認識 ○ホテル保存会との交流 ○おやじの会での有価 物の回収・イベント ○青少年委員会との 協力 ○PTA活動の充実 ○小中一貫教育の推進 ○まちcomiメールの活用 ○ホームページでの 情報発信